

2012年度 日本文化人類学会
第3回理事会 議事録

日時：2012年7月29日（日） 14:00～18:30
会場：東京外国語大学本郷サテライト 7階会議室

出席者：赤堀、綾部、池田、亀井、岸上、窪田、栗本、小泉、佐々木、棚橋、中谷、松田、三尾、森山、山本、和崎
委任状提出：上杉、小田、春日、清水、曾我、高倉、出口

議題

〔承認事項〕

1. 2012年度第2回理事会議事録
2. 2012年度第2回評議員会議事録
3. 2012年度総会議事録
4. 新入会員（7名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
5. 各課題研究懇談会から提出された役員構成、規約、学会HP掲載情報（代表者、連絡先、紹介文、独自URL）、名簿を回覧・確認のうえ承認。2012年度事業計画については8月31日締切で提出依頼を行ったことを報告。
6. 国立民族学博物館国際シンポジウム「ヒーリング・オルタナティヴスと養生の文化」（2012年11月11日開催）の後援依頼があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。
7. 神奈川大学国際常民文化研究機構・国際シンポジウム「二つのミンゾク学—多文化共生のための人類文化研究」（2012年12月8日、9日開催）の後援依頼があったことを報告の上、承認。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・昨年度、前期理事会で学会推薦を行った山口裕子会員（一橋大学）が第1回三島海雲学術賞特別賞を受賞したことを報告。
 - ・第2回三島海雲学術賞学会推薦候補者の受付を7月6日消印有効にて締め切り、選考を開始したことを報告。
2. 会計理事報告
 - ・各地区研究懇談会経費の振込を順次進めていることを報告。口座情報未提出の地区については速やかに必要情報を事務局へ通知するよう依頼。
3. 総務理事報告
 - ・第7回人類学関連学会協議会合同シンポジウム「人間性の由来を探る～霊長類学から総合人間学へ～」（2012年7月8日）が開催されたことを報告。また、来年度幹事学会の日本生理人類学会がシンポジウムテーマを調整中であることを報告。
4. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき4件のJASCA-INFO定例配信を行ったことを報告。
 - ・学会誌投稿用アドレスに生じている転送の不具合（前回理事会報告済み）が解決したことを報告。
 - ・第47回研究大会のウェブサイト上のディレクトリとメールアドレスを発行したことを報告。
 - ・学会HPに関し今後、フレーム構造の廃止等、現在のHTMLの技術に見合ったHPへ変更を行っていく予定であることを報告。
5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：投稿用アドレスの不具合の問題が解決されたにもかかわらず、依然として投稿数が少ないことを報告の上、各理事に対し引き続き投稿の呼びかけへの協力を要請。
 - ・JRCA編集委員会：投稿数が少ないことを報告の上、各理事に対し引き続き投稿の呼びかけへの協力を

要請。

- ・広報・情報化委員会：8月から9月の期間は担当委員不在のために各種研究会情報の学会HP掲載への対応が幾分遅れる可能性があること、併せ、委員不在時の委員代理の依頼について検討中であることを報告。
 - ・学会歴史委員会：次の4点について報告。
 - ①「人類学者・民族学者」映像記録の国立民族学博物館における一般公開に向けた調整を鋭意進めること。
 - ②末成道男名誉会員の講演（於首都大学東京）を録画したこと。
 - ③東京民族学振興会（事務局長：山本理事）が保管してきた旧民族学振興会財産（書類・書籍）のうち、日本民族学会設立過程に関する記録・書面を本学会に移管する作業を進めていること（綾部理事の一時保管を経て、後日、事務局に移送）。
 - ④上記③のうち旧民族学振興会刊行図書については、東京民族学振興会が売却する計画であること。
 - ・地区研究懇談会：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
 - ・学会賞選考委員会：奨励賞の選考スケジュールが確定したことを報告。
 - ・文化人類学教育委員会：次世代育成セミナーの日程と会場が決定したことを報告（西日本会場：神戸大学、11月24日（土）。東日本会場：東京大学駒場キャンパス、12月15日（土））。併せて、発表応募者が少ない場合には、応募期限を延長し、JASCA-INFOと学会HPで周知することを承認。
6. 2012年度学会公開シンポジウムの準備状況について
- ・広報用ポスターとチラシが完成したことを報告。

[審議事項]

1. 各種委員会の構成について
 - ・棚橋理事より、学会50周年記念事業検討委員会の委員追加が報告された。また、倫理委員会の構成について、亀井理事に代わる委員1名の補充を和崎理事に一任することが承認された。
2. 課題研究懇談会の年度途中での新規メンバー追加手続きについて
 - ・栗本理事より、課題研究懇談会の年度途中での新規メンバー追加手続きについて提案があり、承認された。承認された新規メンバー追加手続きは次のとおり。
 - ① 50字程度の理由書（書式自由）と新規メンバーを加えた名簿を事務局に提出（随時受付）。
 - ② 課題研究懇談会担当委員会による新規メンバー追加の審議・承認。
 - ③ 課題研究懇談会担当委員会の承認成立後、直近の理事会での事後承認。
 - ④ 連絡調整担当理事より課題研究懇談会代表者に結果を報告。
3. 2013年度の課題研究懇談会の新規募集について
 - ・栗本理事より、課題研究懇談会担当委員会にて検討の結果、課題研究懇談会の募集は2014年度分は行う（募集時期は13年度）が、2013年度分（募集時期は12年度）は行わないことが適当であるという原案が示され、承認された。併せて、本件のJASCA-INFO配信が承認された。
4. 第47回研究大会第1回サーキュラーについて
 - ・綾部理事より、査読結果の通知方式や郵送登録についての変更に関する下記の提案があり、承認された。
 - ① 査読結果の通知を個人あてには行わず、HP上で掲示する形式に変更する。
 - ② 個人発表、分科会発表の郵送登録を第47回大会から廃止する。
 - ③ 発表登録時に字数の過不足がないよう促す文面を追加する。
 - なお、分科会コメンテーターの掛け持ちに関する問題についてはサーキュラーに明記せず準備委員会で判断、対応を行うことが確認された。
5. 研究成果公開促進費申請検討ワーキンググループからの提案について
 - ・松田理事より、2013年度から科学研究費補助金研究成果公開促進費において「学術定期刊行物」への助成が廃止され「国際情報発信強化」への助成が開始されることについて、本学会の対応に関する中間答申が報告され、今後の学会の対応についていくつかの案が提示された。
 - ・意見交換の結果、助成の制度に引きずられて学会機関誌の路線変更を決定することは回避すべきであり、また、他学会の取り組み等を含む広範な視野での状況把握と判断が肝要であることから、1年の期間を区切って検討を実施し、学会機関誌の将来像と併せて当該助成への対応のあり方を明確化するこ

ととした。結果、今年度の応募は見送り、次年度以降の応募を見据えつつ、まずは学会機関誌の立て直しを図ることを優先するとの案が承認された。

- ・機関誌刊行と国際情報発信をめぐる学会の将来像に関する会員の意向を把握するためにアンケート調査を実施することが提案され、各理事に対してアンケート実施に関する意見の提示が要請されるとともに、継続審議とすることが承認された。
6. 2012年度朝日賞（人文）の候補者推薦について
- ・棚橋理事より、2012年度朝日賞の候補者推薦依頼を受けたことが報告され、審議の結果、2012年度朝日賞の候補者推薦を実施することが承認された。候補者については総務会原案が承認された。
7. 学会50周年記念事業について
- ・小泉会長より、学会50周年事業に関し下記の提案及び報告があり、承認された。
 - ① 学会50周年記念事業検討委員会の構成。
 - ② 第1回学会50周年記念事業検討委員会（7月29日開催）の審議内容を含めた現状報告。
 - ③ 国際研究大会の趣意書原案作成を小泉会長ならびに栗本理事に一任すること。
 - ④ 3つのワーキンググループ（助成申請検討のためのワーキンググループ、学会会員・大学・研究所等による国際パネル等のプログラム検討のためのワーキンググループ、募金活動実施のためのワーキンググループ）を設置すること。
 - ⑤ 今後本件に関し迅速な対応が求められる場合のメール稟議実施の可能性があること。
8. 2012年度下半期の理事会日程について
- ・棚橋理事より、2012年度下半期の理事会日程（10月20日（土）、12月15日（土）、2月17日（日）、3月17日（日））について提案があり、承認された。

以上